

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 6月 30日

事業所名 放課後等デイサービス ビープラス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		バーテーションの配置を工夫して職員の目が届く空間分けをしております。	利用児童の特性を考えてレイアウト変更など柔軟に対応します。
	2	職員の配置数は適切である		○		職員の退職などにより一部職種が足りていないので、増員の為の求人募集を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		十分とはいえないので今後の検討課題としております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		支援計画に沿って随時ミーティングを行うとともに振り返りも行っております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		これから毎年のアンケート等で業務改善に繋げていきたいと考えております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPのお知らせ欄にて公表しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		開所間もない為、今度行う予定であります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		発達障害についての動画を使った研修などを行っている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している		○	保護者と送迎時やSNS等で情報を密に交換しながらニーズや課題を掘り出しています。	保護者との面談や、相談支援専門員と連携して分析し計画を立てていたが、現在専門職員の欠如の為、職員で児童の情報を共有しながら仮の計画で進めると共に職員の求人を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用しております。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全員で話し合い、情報を出し合いながら活動の立案、計画をしております。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		アイデアを職員全員で出し合いながら、新しいことを取り入れたり試したりしております。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日は余暇を中心に、長期休暇などは生活リズムが正常になるようにと設定を変えて対応しております。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童に合わせた計画を作成して、支援を行っております。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前中の職員ミーティングで個別の支援の内容を考えて計画しております。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日もしくは翌日の職員ミーティングで振り返りを行い情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		体温等や時間の記録、支援日誌は当日中に記録しております。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的に行っております。日々のミーティング等で職員全員で成長や課題を見つけて判断しております。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		複数組み合わせさせて支援を行っております。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		責任者の他、直接支援の指導員が出席するようにしております。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		学校お迎えの際に先生と児童情報の交換や確認とプリントなどで学校行事や下校時刻の確認を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		必要なときには、管理者など専用の携帯電話などで連絡が取れるように準備しております。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		今後必要な時には保育所等との情報共有を行い利用児童の理解を深めて支援につなげていく予定であります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		個別支援計画やケア記録などの情報を蓄積して移行の際などに情報提供を考えております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		電話などで担当の基幹センターなどに問い合わせを行い、相談や情報の共有を行っています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		地域の行事やこども食堂での活動で交流を行っています。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○	機会があれば参加を考えております。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		帰りの送迎時やケア記録のスマートフォンでの閲覧、SNSアプリでの情報交換を日々行っております。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	助言等を行っていますが、今後時間を作ってトレーニングの機会を作りたいと考えております。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に契約書や重要事項説明書の丁寧な説明を心掛ける他、質問など随時受付で返答しております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様に向けた職員を相談相手に選出し、相談内容により職員間で考え回答するなどしております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在保護者どうし集まる機会が無い為、保護者会等で、職員を交え話し合いやトレーニング等で支援を行いたいと考えております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情受付の担当者を決め対応する他、重要事項説明書に事業所以外の苦情の相談窓口を記載しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		療育システムの保護者専用ページにて活動や行事予定を閲覧したり、定期的な会報でお知らせをしております。	
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫に適切に保管し、一部の職員しか扱えないように管理しております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		意思疎通を行う為、絵カードや目で見て理解できるよう制作したりじっくり話を聞くなど注意しております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後、活動を広げていきたいと考えております。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		現在マニュアルを見直して内容を今の事業所に合わせて再編成しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		児童と避難場所の確認や防災を考える行事など行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		外部の研修等を予定しております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○		現在では身体拘束の必要性がある児童はいないものの、今後の課題として検討していきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		今後、アレルギー等の支援が必要な時は、医師との連携を計っていきたいと考えております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書の作成や日々のミーティングで情報の共有を行っております。	事業所の活動で危険予知やヒヤリハットを行い事例集を作成する予定です。